

順雲山 光照院 普仙寺

普仙寺だより

発行
浄土宗
順雲山
光照院
普仙寺
第299号
令和3年
6月8日



令和3年5月1日より8日まで

本堂に花御堂を祀り、お釈迦様のお誕生をお祝いしました

普仙寺諸行事
のご連絡

◎ 毎週土曜日

★ 土曜礼拝

感染防止対策をして行います 緊急事態宣言中は中止します)

◎ 六月二十二日 災)

★ 嘉祿の法難選択集拝読

知恩院参拝・中止します
選択集拝読・オンラインで行います

◎ 七月八日 宋)

★ 月並法要・中止します

◎ 七月二十九日 宋)

★ 盆大施餓鬼・住職と副住職で勤めます

◎ 七月または八月

★ こども奉仕団・予定あり

き
り
と
り
き
り
と
り

総本山知恩院おてつき子供奉仕団参加仮申込書				
ふりがな 保護者氏名		住 所		電話番号
		〒		
	ふりがな 参加者氏名	性別	学年	希 望 月 日
1		男 ・ 女	小 ・ 中 年	月 日 から 月 日
2		男 ・ 女	小 ・ 中 年	月 日 から 月 日

-----き-----り-----と-----り-----

<p>② 日程 第一日目 普仙寺に集合 知恩院に到着 結団式、</p>	<p style="text-align: center;">寺行事案内</p> <p>総本山知恩院 おてつき こども奉仕団 参加者募集</p> <p>① 希望月日 今回は希望の月日で引率 します。</p> <p>① 七月二八日から三〇日 ② 七月三〇日から八月一日 ③ 八月一日から三日 ④ 八月三日から五日 ⑤ 八月一八日から二〇日 ⑥ 八月二〇日から二二日 ⑦ 八月二二日から二四日 ⑧ 八月二四日から二六日 の二泊三日間</p>	<p>第二日目 諸堂拝観ともしびの集い 第三日目 解団式・普仙寺到着解散</p> <p>③ 資格 普仙寺檀信徒のこどもで 小学校三年生から 中学校三年生まで 普仙寺檀信徒の新家の こども、普仙寺檀信徒 のこどもの友達でも結 構です。)</p> <p>④ 仮申込 上記の仮申込用紙に必要 事項を記入して普仙寺へ 提出して下さい。後日正 式の申込用紙をお届けし ます。</p> <p>⑤ 締切 七月十五日 (木) までに</p> <p>⑥ 費用 一万三千円</p>
---	--	--

嘉 祿 の 法 難 、
選 択 集 オ ン ラ
イ ン 拝 読 案 内

嘉 祿 の 法 難 の 発 端 で あ る
嘉 祿 三 年 (二 二 七) 六 月
二 十 二 日 、 法 然 上 人 の 靈 廟
が 襲 撃 さ れ た こ と に 因 み 、
法 然 上 人 の 著 書 『 選 択 本 願
念 仏 集 』 を 拝 読 し ま す 。

今 回 は 、 知 恩 院 に 皆 さ ん
と 参 拝 す る こ と は 中 止 し ま
す 。

選 択 集 拝 読 は 住 職 が 御 廟
拝 殿 に 座 り 、 参 加 者 が 各 地
よ り オ ン ラ イ ン で 交 代 し て
拝 読 し て 頂 き ま す 。

記

① 日 時
六 月 二 十 二 日 (災)
午 後 一 時 よ り

② 日 程

各 地 オ ン ラ イ ン に て
『 選 択 本 願 念 仏 集 』 拝 読

③ 参 加 申 込

口 頭 に て 普 仙 寺 へ 申 し 込
み 下 さ い 。

④ 締 切

六 月 二 十 日 ま で に

⑤ オ ン ラ イ ン 接 続

住 職 と オ ン ラ イ ン 接 続 を
し て 頂 き ま す 。

⑥ 参 加 費

無 料

⑦ 用 意 す る 物

『 選 択 本 願 念 仏 集 』 を
お 貸 し し ま す 。

花 ま つ り

令 和 三 年 五 月 一 日 よ り 八
日 ま で 本 堂 前 に お 花 を 飾 り
ま し た 。



令 和 3 年 5 月 1 日 よ り 8 日 ま で
本 堂 前 に お 花 を 飾 り ま し た

お 积 迎 様 は お 母 様 の 実 家
で お 産 を す る 予 定 で し た が
途 中 の 花 園 で お 生 ま れ に な
っ た こ と か ら 、 お 誕 生 の お
祝 い を 「 花 ま つ り 」 と 言 い
ま す 。

寺行事案内

☆七月二十九日(木)

住職と副住職で勤めます

ぼんだいせがきえ

盆大施 餓鬼云

☆塔婆の種類

◎祠堂塔婆

寺位牌祠堂金が累計二十万円で志納されている場合には利息分として塔婆料は無料です。

◎初盆塔婆

初盆の人の戒名でご用意します。有料(三千五百円)ですが、祠堂塔婆を兼ねる場合は無料です。

◎申込塔婆

祠堂塔婆・初盆塔婆以外で申込んで頂く塔婆です。先祖代々または戒名を申込用紙に記入して下さい。塔婆料は一霊三千五百円です。

☆申込方法と

塔婆料

別紙申込用紙に必要な事項を記入して、

1、塔婆料を同時に納める方は普仙寺庫裡にてお納め下さい。

2、塔婆料を受取時に納める方は用紙を本堂内の申込箱へ入れるか、または郵送して下さい

☆塔婆の受取

塔婆の受取は七月三十日以後にお願いいたします。塔婆番号葉書をお送りします。受取の時にお見せ願います。

☆自宅柵経

◎ 本年度は八月の柵経を

1、例年通り自宅柵経を希望されるか

2、八月十四日普仙寺本堂回向を希望されるか

をお申し出願います。

◎ 別紙申込用紙の空欄のどちらかに○を記入して下さい。

◎ 自宅柵経を希望の方には例年通り、日時の葉書をお送りします。

◎ 八月十四日普仙寺本堂回向は住職と副住職で勤めます。

☆毎週土曜日

朝八時三十分～九時
どようらいはい

◎土曜礼拝

緊急事態宣言中は中止
新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として

1、マスクの着用

2、手指の消毒

※本堂入り口に設置してあります

3、1メートル以上の間隔を空ける

4、焼香はひとりずつ
をお願いします。

普仙寺だより 二九九号

発行日 令和三年六月八日

発行所 普仙寺

発行者 加藤良光

〒四四一八〇九三

豊橋市牟呂中村町六一五

電話

〇五三二一三一七四五七

令和三年 盆大施餓鬼会 塔婆申込用紙

(本堂内の申込箱へ入れるか、または郵送)

本年度は七月二十九日に住職と副住職とでお勤めします。

塔婆の受け取りは七月三十日以後にお願いします。

塔婆番号葉書をお送りしますので、

受け取りの時にお見せ願います。

塔婆料は申し込みの時・受け取りの時どちらでも結構です。

3	初盆	申込	祠堂	2	初盆	申込	祠堂	1	初盆	申込	祠堂	先祖代々または戒名 申込塔婆料一霊三千五百円)	住所 (町内名でも可)
自 宅 棚 経												施 主 氏 名	
棚経について希望する方に○を付けて下さい						本年度は八月の棚経を ①、例年通り自宅棚経を希望されるか、 ②、八月十四日普仙寺本堂回向を希望されるか お申し出願います。 自宅棚経を希望の方には日時 葉書をお送りします。 八月十四日普仙寺本堂回向は住職と副住職で勤めます。							
例年通り 自宅棚経 回向を希望						八月十四日 普仙寺本堂 回向を希望							